

全法連事務局 御中

([mail@zenkokuhojinkai.or.jp](mailto:mail@zenkokuhojinkai.or.jp))

## 2. 法人会版健康経営宣言書「青年部会」用

(2021年8月2日現在)

単位会名（所属県連名）		公益社団法人半田法人会	(愛知県連)	
部会長 氏名		中村 和也		
部会長 携帯番号				
部会長 メールアドレス				
単 位 会 情 報	事務局所在地	〒475-0857 半田市広小路町155番地の3 クラシティ2F		
	担当者(事務局員)名	辻 年子		
	TEL	FAX	0569-22-1251	0569-23-7322
	メールアドレス		h-info@handahoujinkai.jp	
	部会員数		104 名	

### 健康づくりの取組目標・取組内容

健康経営宣言 (目標)	<ul style="list-style-type: none"><li>健康経営の重要性を学ぶ研修会を実施します。</li><li>1社でも多くの青年部会員が健康経営を宣言し、それに基づく経営を行う。</li><li>会員間の交流を通じて結束を高め、地域貢献活動を通じて半田法人会青年部会の価値を高める。</li></ul>
実施している活動が 該当するカテゴリー 1つ以上に○をつけて ください。	<p><b>1 フィジカル（身体的）部門</b>…運動や身体的な改善内容等</p> <ul style="list-style-type: none"><li>定期的なスポーツ交流会（ゴルフ、ボウリング、ウォーキングなど）を開催</li><li>協会けんぽ、会員企業での健康増進活動の事例を報告・発信。</li></ul> <p><b>2 メンタル（精神的）部門</b>…社員のメンタルヘルス対策や職場環境改善等</p> <ul style="list-style-type: none"><li>会員間のコミュニケーション機会を創出し「笑顔」を増やす。</li><li>健康経営・メンタルヘルス講習会の開催</li><li>協会けんぽ、会員企業での事例を報告・発信。</li></ul> <p><b>3 ソーシャル（社会的）部門</b>…地域貢献活動やボランティア活動等</p> <p>健康経営推進委員会の立ち上げ／小学生6年生を対象とした租税教室／ジェネリックシール配布／</p>

(下記の該当項目にチェックを入れてください。)

全法連ホームページ及び内部資料に単位会名を掲載することを承諾します。

上記のとおり申し込みます。

2021年8月2日

単位会名： 公益社団法人半田法人会

(押印は不要です。)

部会長名： 中村 和也

企業名	公益社団法人半田法人会青年部会
申請者名	阿部 直弘
(申請者名) カナ	アベ ナオヒロ
申請者の役職名	健康経営推進委員会 副会長
カテゴリー	メンタル
活動のタイトル	オリンピックアスリートから学ぶ 食と最高のパフォーマンス
活動期間の始期 (年月日)	1/29/2023
活動期間の終期 (年月日)	1/29/2023
参加人数	85
活動内容について	<p>半田法人会では令和4年度より健康経営推進委員会を立ち上げ、「財政健全化のための健康経営プロジェクト」へコミットしております。今回は令和5年1月29日曜日に『オリンピックアスリートから学ぶ食と最高のパフォーマンス』として、誰もが心がけることのできる”食”にテーマを絞って講演会を開催致しました。講師には冬季オリンピックに3回出場し、現在はヘルスケアスペシャリストとしてご活躍されている元スピードスケートショートトラック日本代表の勅使川原郁恵氏にご講演頂きました。またスペシャルゲストとしてオンラインでの参加となりましたが、2021年東京オリンピック銅メダルと昨年の世界陸上で連覇をされた地元の愛知製鋼株式会社陸上競技部に所属されています山西利和氏に出演いただき、勅使川原氏とオリンピックアスリートならではの話で対談をいただきました。会場には多くの皆様が集まり、オリンピック選手の話に注目頂きました。</p>
アピールポイント	<p>令和4年度から合計4回の事業を半田法人会青年部会の中で実施してきました。コロナ禍とういこともあり、中々人が集まらず浸透しづらい中で少しでも健康経営を会員企業に広める為に有名人を使って講演会をしてはどうかと考えました。テーマを考える際に”健康”をキーワードに当初は考えましたが、どの世代でも、運動が好きでも嫌いでも人間であるので食事はするという観点からテーマを”食”にしました。講演は東海地方や半田法人会がある知多半島にゆかりがある人材を検討した際に、かつて冬季オリンピックに3度出場した勅使川原郁恵氏が今回のテーマにはまる活動をしていた為、依頼致しました。ただ知名度的には少し昔のアスリートでしたので、より多くの方々に参加頂けるよう地元で現役で活躍されているメダリスト・競歩の山西選手にもスペシャルゲストとして依頼したところ、オンラインで参加頂きました。常日頃から最良のパフォーマンスを出すにはどのような食生活をしているのか、どういったものを摂取すると体調管理がしやすいのかなどを中心にどの世代にもヒットするよう講演・対談を頂きました。</p>
活動の成果	<p>当日の会場は300名規模のものでしたが、コロナ禍でありましたので間隔をしっかりととるために100名の座席にして募集をかけました。対象は会員企業様、そのご家族や従業員にしました。来場者は85名。その他青年部会員が20名です。</p>

	また成果としてその後数値化できるものは今回設定しておりません。
財政健全化への貢献度	現状こちらの質問に対する数値化できるものの情報はとれていません。
部会員企業への浸透度	<p>健康経営プロジェクトが始まった当初から委員会設置をして取り組み、毎年度事業を実施していることもあり、青年部会員への浸透度は高いと思われます。愛知県連の中でも宣言書を提出割合は高い方と聞いております。</p> <p>また法人会版の健康経営プロジェクトとは違いますが、健康経営優良法人へエントリーする企業様が増えました。</p>

吉村アドバイザーフィードバックシート

吉村健佑氏：精神保健指定医・労働衛生コンサルタント・公認心理師・  
千葉大学医学部附属病院 特任教授・産業医・  
全法連青連協健康経営プロジェクトアドバイザー

対象：ファイナリスト単位会・部会員企業

【単位会】

	良かった点・評価できるポイント	今後の取り組みに向けてのアドバイス
半田法人会 (名古屋・愛知)	<ul style="list-style-type: none"><li>・講演会にたくさん参加されたのは良い</li><li>・講師人選や「食事と運動」という注目のテーマも、健康にまつわる点で活動との関連性、親和性が感じられ良かった</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・講演を聞いた皆さんが、どう行動変容したのか？健康に対する意識変化があったのかなど、例えば、参加者に対する講演前、講演後のアンケート、前後が難しければ終了後のアンケートだけでも実施し、分析・評価しそれを次に活かすだけでも良いので、効果測定を意識してはどうか。</li><li>・日々業務の中で取り組めることはあったらどうか、これを受けてみんなでアイデアを出し合う場を作るとか、参加した人同士でディスカッションやグループワークをして、自分の事業所ではこんなことやってみようとか、アクションやTODOにつなげがっていくと更に良くなると感じる</li><li>・そのような成果を講演者に対してフィードバックすることも講演者にも喜ばれると思うし、地域活動としても前向きになってくるのではと感じる</li></ul>